

議会だより

やまと

Vol.212

令和8年2月1日発行



つばめの杜保育所餅つき

第4回定例会

会期12月5日
～12月12日

第3回臨時会

会期12月24日

目 次

●定例会概要	P2
○一般質問（質問議員6人）	P3～9
●その他の議案・臨時会	P10
○委員会報告	P11
●議案審議結果	P12
○会議等出席状況	P13

一般質問

我が町政を問う

一般質問大綱一覧

- 丸子 直樹 議員 P 4
 ★1 山元町におけるクマ目撃情報と調査・情報提供体制について
 ★2 町管理路線における雑草対策の強化と地域協働による防草対策等について
- 大和 晴美 議員 P 5
 ★1 都市計画マスター・プランの改定に伴う関連事項について
 ★2 クマ対策について
- 斎藤 俊夫 議員 P 6
 ★1 約束を守る健全な町政運営について
- 岩佐 秀一 議員 P 7
 ★1 農業振興地域整備計画の進捗状況について
 2 元坂元中学校跡地の事業進捗状況について
 ★3 子育て世帯への支援について
- 伊藤 貞悦 議員 P 8
 ★1 公共施設（含む学校）等の衛生管理について
 ★2 児童・生徒の学校生活の現況について
- 遠藤 龍之 議員 P 9
 ★1 国民健康保険事業の取り組みについて
 ★2 町営住宅の取り組みについて
 3 クマ対策について

※スペースの都合上、質問項目の前に「★」が付いて
いる内容のみ掲載しております。
掲載項目以外の内容の詳細は、右の二次元
バーコードから録画映像をご覧ください。▶



○一般質問とは
町の行政全般にわたり、状況
や見通しを聞き疑問点をただし、
所信の表明を求めるもの。

議会議員在籍期間
平成11年5月1日（24年6月）
令和5年11月12日



阿部 均氏（中山区）

旭日双光章

おめでとうございます

表彰者紹介

令和7年 第4回定例会

○定例会概要

第4回定例会は12月5日から12日まで8日間の日程で開催されました。

今回の会議では、町長から提案された議案12件（条例6件、補正予算5件、その他1件）のほか、第3回定例会から継続審査としていた条例1件を審議し、すべて原案の通り可決しました。

また、6人の議員が、今後のまちづくりや町政運営について一般質問を行いました。その内3人がクマ対策に関する質問を行うなど、クマに対する注目が集まった定例会となりました。

○一般会計補正予算概要

一般会計予算においては、人事院勧告等に伴う人件費等の改定と、深山山麓少年の森の改修工事費（じゃぶじゃぶ池）や山元町デイサービスセンター「知楽荘」の修繕費用を計上したほか、自立支援介護訓練等給付費、町内各排水機場の電気料金増額により不足が見込まれることから、必要額を予算化しました。



改修を待つじゃぶじゃぶ池

○主な補正予算事業

- 老人福祉施設整備費負担金（知楽荘） 153万円
- 自立支援介護訓練等給付費（利用者の増） 2,803万円
- 深山山麓少年の森改修工事（じゃぶじゃぶ池） 500万円

○令和7年度 各種会計補正予算一覧表

（単位：万円）

会計名	補正額	総額
一般会計	1億1,481万円	86億6,504万円
国民健康保険事業特別会計	1,117万円	17億2,710万円
介護保険事業特別会計	2,800万円	16億4,100万円
水道事業会計	564万円	5億3,250万円
下水道事業会計	2,141万円	11億 249万円



クマ出没の状況と対策は

町長 安全最優先で対応進める

問 本町におけるクマ出没の状況と、人的被害及び農作物被害の有無は。

答 令和7年度は8件の目撃情報が寄せられているが、久保間地区でクマと断定できる痕跡は確認されていない。

今後も、情報収集及び状況確認に努めてい

く。本町におけるクマ出没の状況と、人的被害及び農作物被害の有無は。

問 現地確認の体制及び手順はどうか。

答 職員、鳥獣被害対策実施隊及び警察官が現地に出向き、足跡、糞、食痕などを専門的に見により確認し、インシシなどとの判別を行っている。証拠となる画像の保存及び共有も行い、検証を重ねている。

問 調査結果の住民周知の改善について、町の考えは。

答 現在は、防災行政無線及びスマートフォ

ンアプリにより目撃情報

を周知している。今

後は、目撃情報と調査結果を一覧化し、町

ホームページで公開す

る。また、広報誌によ

る掲載についても検討

する。

問 猿友会などの連携及び安全確保の取り組みは。

答 第一線で活動する隊員の安全を最優先とし、クマ撃退スプレーの配備などを進めている。引き続き、警察及び関係機関と連携し、体制強化と人身被害防

止に取り組む。

問 地域との協働体制の現状と評価は。

答 行政区分による環境美化活動や、多面的機能支払交付金を活用した取り組みが行われており、町としても対応が難しい箇所も生じている。

問 地域との協働体制の現状と評価は。

答 行政区分による環境美化活動や、多面的機能支払交付金を活用した取り組みが行われており、町としても対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除草剤散布などの手法について、費用対効果や周辺環境への影響などを踏まえ、適切な活用方法を検討している。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行い、住民からの通報も踏まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

いる。

問 防草技術の活用に対する考え方。

答 舗装、防草シート、除

業者及び職員による巡回を行

い、住民からの通報も踏

まえて除草作業を実施して

いる。近年は猛暑などの影

響により雑草の繁茂が早く、対応が難しい箇所も生じて

公共施設トイレにペーパータオルを

■長 流行状況に応じ適切に対応する。

問 公共施設トイレからペーパータオルが撤去され、以後

答　コロナの流行時、菌の飛散防止のため、国から公共トイレに設置されたハンドドライヤー使用を控えるよう通達があり、一時的にペーパータオルを設置した。

コロナが5類感染症に変更されたので、ドライヤー使用を再開した。

答 座、ウォシュレットを導入する考えは。
除菌目的のアルコールなどを設置しているので、除菌ティッシュは考えていない。
便座シートは衛生上の観点から難しい。暖房便座やウォシュレットの学校や公共施設への設置率は、便座が100%、ウォシュレットは83%となっている。
未設置施設は改修計画や財政などを踏まえ導入を研究する。

いとう ていえつ
伊藤 貞悦 議員

議員の一般質問の
映像配信をご覧い
ただけます。

問 コロナやインフルエンザ蔓延防止対策として、児童生徒や乳幼児が利用できるように、マスクの設置や配布の考え方。

ら中学3年生と妊娠に
対し、インフルエンザ
接種費用の一部助成を
実施しており、郡内の
医療機関で接種した場合
は無償としている。



いつもきれいに使ってね。

国保税率引き下げで負担軽減を

貿易の安堵を國庫へと蓄積していく

は、2018年度から町と県との共同運営の保険となり、これまでの保険制度と大きく変わっているが、町国保事業への影響は。

答 これまで町が独自に財政運営してきたが今後は県から示される「標準保険料率」及び「事業費納付金」を基に税率を定め、県に納付する仕組みに変わっている。

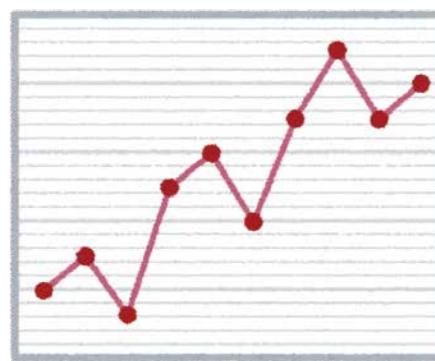
問 県の統一化により今後かなりの国保税が

度に問題があることを指摘する。

答　　次に、現在検討されている「均等割」軽減の拡充についての町の対応は。

　　国の検討部会では未就学児までと定められている均等割保険税の5割軽減を高校生年代まで拡大する方針が示された。また、未就学児に係る公費軽減に加え、本町では財政調整基金を活用し被保険者の負担軽減を図るべ

拡大し、均等割の免除を継続しているが、国の制度改正が施行されれば、当該経費にかかる財政支援が見込まれる。



く、対象を18歳までに

答 現時点での税率引き下げは財源の安定を

答 現時点での税率引き下げは財源の安定を損なうおそれがあり考えにくく。

問 現実として、非常に重い税負担となつてゐる。物価高騰対策も講じられているなか税率引き下げは議論の余地があり、町としての対応を強く求める。

家賃减免措置のさらなる延長を

町長 取り扱いを検討している

クマ対策について

クマの目撃情報による現場確認の結果、クマの痕跡は確認されていないが、生息地域や分布域など、科学的調査に基づく、クマ対策の対応を。

答　県内の被災自治体の動向を鑑み、取り扱いを検討している。被災者の生活再建を目的に建設した住宅であり、現在は空き家状況を見て、一般募集による入居も可能にしている。

康で文化的な生活を営むに足りる住宅を整備し、これを住宅に困窮する低所得者に対し低廉な家賃で賃貸する義務がある」と法に定められているが、町営住宅と復興公営住宅の違いは。
答 町営住宅は、指摘のとおり法に基づき、住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で賃貸することを目的に整備した住宅である。

いじめと不登校の現況は

教育長 いじめは絶対にしてはならない

「いじめは絶対にしてはならない」という指導と、教師の観察やタブレットを使った「心の健康調査」、月1回アンケートを実施し迅速に対応している。問「不登校」の現状と対策は。

問 「いじめ」の現状
と対策は。
答 10月末時点で小学校6件、中学校4件の
合計10件。

町の仕事をチェック!!

産建教育常任委員会

◇ 調査内容

児童生徒の学習の場であるとともに、災害時には避難所として活用される学校体育館の機能強化を目的とした冷暖房設備の整備計画について調査した。

◇ 意見

国の交付金を活用し事業を行う計画であるが、冷暖房設備の全国的な需要急増に備え、スケジュール管理を徹底するべきである。熱効率の観点から窓の断熱化工事などが必要と考える。設計段階から留意しえる。

◇ 調査内容

「こども誰でも通園制度」を導入するにあたり、制度内容、町の対応予定及び新たに条例で規定する項目を調査した。

◇ 意見

制度制定後、専属職員2名の配置を見込んでいますが、人員不足が生じないように配慮されたい。施設面積の確保も同様であり、利用者に対し従来の一時預かりとのすみわけを十分周知し、有効活用を図られたい。

総務民生常任委員会

◇ 子育て環境整備

その他の議案

条例

- 山元町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例（議案第44号）
- 山元町特定重要児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例（議案第54号）

【委員長報告】審査の結果「可決すべきもの」

条例内容

国の「こども誰でも通園制度」の実施に伴い、町での運営について条例で定めたものです。これにより我が町でも4月からスタートされます。

「こども誰でも通園制度とは」

- ・全ての子どもの育ちを応援し、子どもの良質な成育環境を整備します。
- ・全ての子育て家庭に対して、保護者の多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化します。



※保育所に通っていない0歳6ヶ月～満3歳未満が対象です。

施行期日 令和8年4月1日～

議員のなり手不足対策調査特別委員会 活動報告



加美町での視察研修

○加美町・大和町議会
両町では、なり手不足対策・議員報酬の検討を、アンケート調査や町民による委員会を組織したうえで検討協議し、定数減・報酬増と改正しています。

◇ 視察研修を行いました

○亘理町議会	○亘理町では、区長会の要請に
講師 河村 和徳 氏 (拓殖大学 教授)	より議員定数・なり手不足対策・議員報酬を議会で協議しており、その一環として町民のアンケート調査を実施しています。
場所 山下地域交流センター (ひだまりホール)	
日時 2月15日（日） 午後1時30分	

◇ 議員のなり手不足を考えるセミナーを開催します

町民の皆さんに町議会の現状をご理解いただき、議員のなり手不足解消のためにどのようなことを行えるかを考え、開催します。
詳しくは、回覧チラシまたはホームページをご覧ください。

第3回臨時会

12月24日に第3回議会臨時会が開催され、次の議案が可決されました。

- 議案第66号 令和7年度山元町一般会計補正予算（第5号）
- 議案第67号 令和7年度山元町水道事業会計補正予算（第4号）

これらは、国の「強い経済を実現する総合経済対策」に基づき、物価高騰の影響を受けている町民や事業者を引き続き支援するため、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用し、各種支援に係る経費を追加計上したものです。

○町独自の支援策

- 全町民に1人当たり1万円の商品券を配布……………1億2,945万円
- 町民事業者に水道の基本料金を減免……………1,620万円
- 農漁業者、運輸等業者に燃油高騰支援……………1,700万円
- 福祉施設、医療機関等へ支援……………859万円
- 児童手当支給対象の子ども1人当たり2万円を支給……………2,700万円



開催案内チラシ

議員の会議等出席状況

令和7年10月1日～12月31日

出席：○ 欠席：欠（病気等）・公（公務） 員外：—

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
				竹内和彦	高橋眞理子	遠藤龍之	丸子直樹	大和晴美	渡邊千恵美	品堀栄洋	岩佐秀一	齋藤俊夫	岩佐孝子	伊藤貞悦	菊地康彦	
10	2	木	石川県穴水町議会視察対応	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	3	金	広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	—	—
	6	月	議会運営委員会	—	—	○	○	○	○	—	—	○	—	○	○	—
	7	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	金	亘理名取市町議会連絡協議会議員研修会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	14	火	加美町・大和町議会視察研修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	15	水	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	16	木	広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	—	—
	21	火	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			議会議員のなり手不足対策調査特別委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—
	22	水	総務民生常任委員会	—	—	○	—	—	○	○	○	○	○	○	—	—
	23	木	広報・広聴常任委員会	—	○	—	○	—	—	○	○	—	—	○	—	—
	28	火	県議会・市町村議会議員セミナー	○	—	—	—	○	—	—	○	—	—	○	—	—
11	5	水	産建教育常任委員会	○	○	—	○	○	—	—	—	—	—	○	—	—
	6	木	第24回山元町・新地町議会議員交流会	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	10	月	全員協議会	○	公	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	11	火	全員協議会	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			議会議員のなり手不足対策調査特別委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—
	12	木	町村議會議長全国大会（～11/13）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	14	金	県議長会議広報研究会	—	—	—	欠	—	○	○	○	—	—	○	—	—
	19	水	県町村議會議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	28	金	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			広報・広聴常任委員会	—	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	—	—
12	1	月	議会運営委員会	○	—	○	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○
	3	水	旧JR山下駅前トイレ撤去経緯等調査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—
			議会議員のなり手不足対策調査特別委員会	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—
			第4回議会定例会（12/5～12）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	17	水	議会議員のなり手不足対策調査特別委員会（亘理町議会視察研修含む）	○	—	—	—	○	○	—	○	○	—	○	—	—
	19	金	仙南・亘理地方町議會議長会議	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	○
	22	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	23	火	議会運営委員会	○	—	○	—	○	—	—	—	○	○	○	○	○
24			第3回議会臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
			広報・広聴常任委員会	—	—	—	○	—	○	○	○	—	—	○	—	—

○令和7年 第4回定例会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第44号	山元町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例【P10に記載】	可決 (全会一致)
議案第54号	山元町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例【P10に記載】	
議案第55号	山元町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
議案第56号	山元町特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案第57号	山元町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	
議案第58号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	
議案第59号	山元町子ども・子育て会議設置条例の一部を改正する条例	
議案第60号	宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について	
議案第61号	令和7年度山元町一般会計補正予算（第4号）【P2に記載】	
議案第62号	令和7年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	
議案第63号	令和7年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	
議案第64号	令和7年度山元町水道事業会計補正予算（第3号）	
議案第65号	令和7年度山元町下水道事業会計補正予算（第2号）	

○令和7年 第3回臨時会 議案等の審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第66号	令和7年度山元町一般会計補正予算（第5号）【P10に記載】	可決 (全会一致)
議案第67号	令和7年度山元町水道事業会計補正予算（第4号）【P10に記載】	

○請願・陳情の受理

陳情番号	件名	陳情者等の氏名	結果
陳情第9号	臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情	一般社団法人 中国における臓器移植を考える会 代表 丸山 治章	配付

議長交際費

区分	10月		11月		12月	
	金額(円)	内容	金額(円)	内容	金額(円)	内容
会費	5,000	陸上自衛隊記念式典	—		19,000	仙南・亘理地方町議會議長会情報交換会など
慶弔	—		—		—	
その他	12,232	穴水町議会視察研修対応物品など	—		3,850	視察研修時持参物品
合計	17,232		—		22,850	



太鼓とともに歩んだ26年

創作和太鼓集団 風雲 乱打舞 代表 伊藤 宏之

2000年9月1日、名前を考える。皆で案を持ち寄り、「らんだむ」と命名。年齢も性別も職業も色々な人が集まるという意味で、風雲は雲を突き抜ける龍のごとく、そんな意味をこめて名付けました。

今年の9月で26年目に突入したのですが、結成から今現在に至っても小学生、中学生などの児童生徒がいなかった時期が1日もないです。そんな子ども達の力を受けながら今まで続けてこられた気がします。そして、そんな力をもらえる子ども達がいる間は頑張って続けて行きたいとも思っています。

最後に、ランダムな年齢の10代から50代までの中間世代が不足しております。経験不問、自信の有る無しに関わらず、興味のある方はぜひお問い合わせください。お待ちしております。



◇◇お知らせ◇◇

議会広報・広聴常任委員会

委員長	丸子 直樹
副委員長	渡邊千恵美
委員	品堀 栄洋
委員	岩佐 秀一
委員	伊藤 貞悦

令和8年第1回山元町議会定例会(予定)

会期: 2月27日(金) ~ 3月19日(木)
開会: 午前10時

本会議: 2月27日・3月3日・4日・6日・19日
(一般質問: 3月3日・4日)

議会のホームページをご覧ください

山元町議会

検索



編集ナースク

今回から、議会広報・

広聴常任委員会の委員長を務めることとなりました。

初めての委員長職となり、身の引き締まる思いです。委員

会のメンバーも新しくなり、これから2年間、協力しながら誌面づくりに取り組んでまいります。

物価高騰や防災・減災への関心の高まりなど、私たちの暮らしを取り巻く状況は大きく変化しています。こうした時代だからこそ、議会で何が話し合われ、どのような課題に向き合っているのかを、より身近に感じていただける広報を目指します。

本誌が町政への理解を深める一助となれば幸いです。

(委員長 丸子 直樹)